

家族性大腸腺腫症 (FAP) 患者に発生する多発大腸ポリープに対する 積極的な内視鏡的切除 (IDP) における有害事象のリスク因子に関する研究

1. 研究の対象

2021 年 1 月から 2023 年 12 月に当院で家族性大腸腺腫症 (FAP) に発生する多発大腸ポリープに対してバイポーラスネアを用いた通電切除による積極的な内視鏡的切除 (IDP) を受けた方

2. 研究の概要

研究期間: 総長の研究実施許可日～2029 年 6 月 30 日

研究目的: 家族性大腸腺腫症 (FAP) 患者に発生する多発大腸ポリープに対する積極的な内視鏡的摘除 (IDP) における有害事象発生のリスク因子を明らかにすること

研究方法: 研究対象者の方の診療録・内視鏡レポート等を後ろ向きに調査し、どのような患者層や処置内容が IDP に伴う有害事象発生のリスクであるかを調べます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 診療録 (病歴、既往歴、入院経過)、内視鏡レポート等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 消化管内科 松山 和輝

住所: 〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話: 06-6945-1181

研究責任者: 消化管内科 加藤 穰

-----以上